



令和4年5月号  
子うさぎの森保育園  
理事長 城後哲志

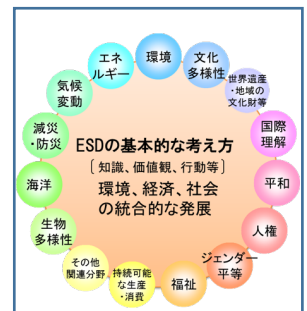
前回は新入園児を迎え、ESDのひろばの第1回の「ESDってなに？」を再掲載しました。  
そして今回はユネスコスクールについてお話しをしていきたいと思います。

### ユネスコスクールってなに？

日本が2002年の国連総会で提案したことがきっかけで、2005年から2014年までを「国連持続可能な発展のための教育（ESD）の10年」にすることが採択されたのが始まりだそうです。そして「どこが中心になってESDをやるの？」という話しになった時に、国連の教育科学文化の機関であるユネスコが指名されたということです。ユネスコが推進するESDの拠点の学校なので「ユネスコスクール」とても分かりやすいネーミングですね。

ユネスコスクールに加盟するまでの流れは次の様になっています。

- ① ユネスコスクール事務局に申請 → 承認
- ② ユネスコ本部に申請
- ③ 指導、助言をする担当の教育大学を紹介
- ④ 1年間のチャレンジ期間でESDを実践して活動報告書を担当大学に提出
- ⑤ 担当大学が実績を認めたら推薦コメントを確認シートに記入して事務局に提出
- ⑥ 日本ユネスコ国内委員会（文部科学省）がユネスコ本部に加盟申請
- ⑦ 加盟登録
- ⑧ ESDの活動を続け毎年活動を報告



### チャレンジ期間でどんなことするの？

ユネスコ国内委員会の資料にはこのように書いてあります。

ESDの実施には、特に次の二つの観点が必要です。

- 人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと
- 他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関り」、「つながり」を尊重できる個人を育むこと

### なんだか難しそう(;^\_^A

私も何から手をつけたらよいのかわかりませんでした。それでも担当の教授からたくさんのキーワードをいただきながら手探りでやって行く中に、子どもたちを中心として、保護者、保育園の職員を巻き込んだ活動が大切なのだということが分かりました。そして地域の関係者、周りの保育園や教育機関など様々なコミュニティとの「関り」や「つながり」を持つことで活動がどんどん広がっていきました。今年度は子うさぎの森保育園がいよいよキャンディデートから正式にユネスコスクールに登録されそうです。これからも「ESDひろば」からたくさんの情報を発信していきたいと思いますので、皆さんよろしくお願いたします。